



今回の紹介地区 No.137

岡山県 新見市 蚊家地区

株式会社による耕作放棄地再生利用緊急対策の活用事例

取組概要

対象面積: 1ha(田)

実施期間: 平成22年11月1日～平成23年1月29日

取組のきっかけ: 異業種参入し耕畜連携に取り組んでいた建設業者が、年間の労働力の均衡を図るため、自ら牧草を栽培し畜産農家へ飼料を供給する取組みを具体化。

調整経緯: 取組主体が土地所有者と交渉し、利用権設定による土地集積を行い、実施に至る。

取組主体: (株)ウエストカントリー(栽培作物: イタリアンライグラス)

作業内容: 雑草や樹木の刈払い・処分、整地、土壤改良

株式会社の概要

(株)ウエストカントリーは、母体である建設会社が農業参入のため平成20年に設立した。

飼料作物を1.4ha栽培し、その他に作業受託により稲発酵粗飼料用稲(WCS用稲)の栽培を50ha、牧草管理2ha行っている。

収穫した飼料を畜産農家へ運搬し、その畜産農家の堆肥を耕種農家へ供給するなど耕畜連携を実施し、新見市循環農業の一翼を担っている。



再生作業前

